

シリーズ
 セーフコミュニティ認証取得への道
 No.10
 セーフコミュニティ活動報告

第6回アジア地域セーフコミュニティ 会議が開催されました

☆松原市の取り組みを
 アジアに向けて発信

平成24年11月28日から11月30日にかけて、第6回アジア地域セーフコミュニティ会議が、東京都豊島区で開催されました。

会議には、アジア地域でセーフコミュニティに取り組む各国関係者約350人（海外から19カ国約150人を含む）が参加し、日ごろから行っている地域の安心安全活動について発表するとともに、他国の取り組みや成果について理解を深めました。

本市からは、重点課題として取り組んでいる自転車の安全利用に関する取り組みと、平成23年8月に実施した「松原市民のけが及び安心安全に関する実態調査アンケート」の集計結果から見えてきた松原市の課題などについて発表を行いました。

また、松原市の外傷傾向や産業歴史についてパネル展示し、松原市をアジアに向けて紹介するとともに、海外からの参加者と意見交換を行いました。

これからも、継続的に国内・国際的なセーフコミュニティネットワーク

クに参加し、松原市の取り組みを発信していきます。

☆自殺予防に向け活動報告

市のセーフコミュニティ活動の重点課題として取り組んでいる自殺予防対策。主に、相談窓口の充実とゲートキーパー（※1）の養成、生きがいづくりに取り組んでいます。

今年度は、母親のためのピアサロン「ココ・カラwith」という相談窓口の開設やセミナー、沢田知可子さんの「歌セラピーコンサート」、ゲートキーパー養成研修を実施し、「自己肯定感（※2）を育む食」というセミナーを開催しました。また自尊心をテーマにしたゲートキーパー啓発冊子を作成し配布しています。

今後は、現場で相談を受けている人を対象にしたゲートキーパー養成研修を実施し、相談員同士の連携を深めて窓口機能の強化を目指すとともに、自殺予防には相手に寄り添って話を聴くことが必要なことから「傾聴」をテーマとしたセミナー（※

詳しくは、広報まつばら30ページの「人権教育市民セミナー（自殺予防）」をご覧ください）も予定しています。

また、市職員がゲートキーパー養成についての出前講座を実施するなど、誰もがゲートキーパーになれるような取り組みを進めていきます。



▲ゲートキーパー啓発冊子

（※1）ゲートキーパー 自殺を未然に防ぐために自分の身近な人、家族、友人の悩みに気づき、話を聴いて、必要な支援につなげて見守る人のこと。
 （※2）自己肯定感 自分は大切にかけがえのない存在だと思える状態。

▼問合せ 市民安全課、人権文化室

アジア地域セーフコミュニティ会議の様子



▲アジア会議に参加



▲市の取り組み発表



▲交流会・パネル展示



▲「ココ・カラ with セミナー」の様子